

# 序章 川西町地域総合交通戦略について

## 序-1 策定の趣旨

本町では、高齢化や環境負荷軽減の対応、また企業立地の促進及び結崎駅周辺整備による賑わい創出など、様々な課題への取り組みを推進しています。これら課題への対応、また望ましい将来像実現のためには、交通施策の着実な展開と実現が必要不可欠です。

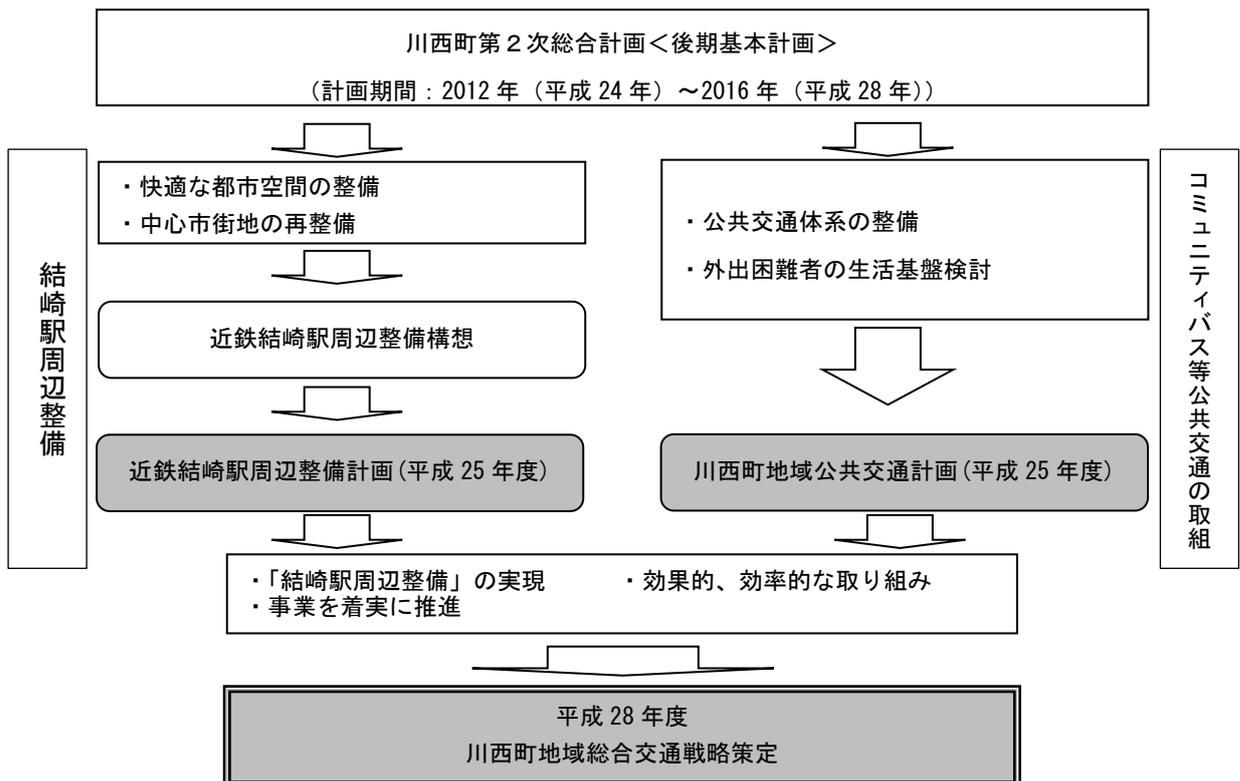
このような状況の中、将来の交通体系づくりに関する方針や施策について「川西町地域総合交通戦略検討協議会」にて協議を行い、「川西町地域総合交通戦略（以下「総合交通戦略」と称す）」を策定するものです。

「総合交通戦略」は、徒歩、自転車、公共交通等の各モードが連携し適切な役割分担のもと、望ましい都市及び地域像の実現を図る観点から、町、住民、関係機関、団体等が相互に協力し、本町が抱える多様な課題に対応すべく、交通事業とまちづくりが連携した総合的かつ戦略的な交通施策の推進を図り、魅力と活力があふれる都市及び地域の整備を行うことを目的とします。

## 序-2 策定の経緯

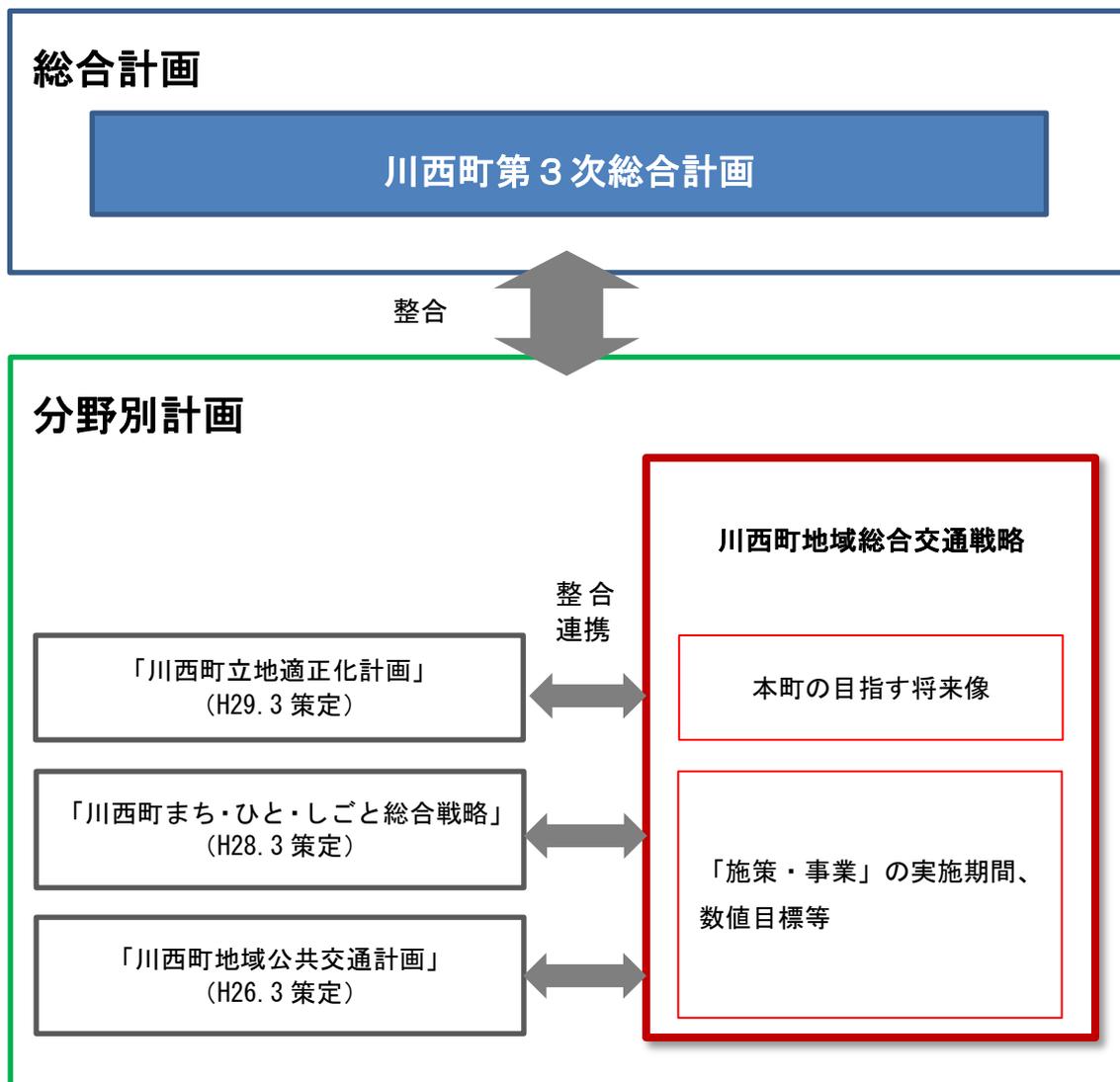
本町では、これまで「川西町第2次総合計画<後期基本計画>（以下「第2次総合計画」と称す）」にもとづき、「結崎駅周辺整備」などの市街地活性化の基盤整備に取り組んできました。他方、コミュニティバス等公共交通に関しても同じく「第2次総合計画」に基づき「川西町地域公共交通計画」を策定するなど取り組みを進めてきました。

この二つの取り組みは密接に関係しています。「結崎駅周辺整備」が熟度を増す中、取り組みを個別に進めるのではなく、両者以外の関連施策を含め一体的な計画とし、より効果的、効率的、かつ着実に推進するため「総合交通戦略」を策定します。



### 序-3 位置づけ

「総合交通戦略」を「将来像実現のために必要な交通環境構築の総合的計画」と位置づけます。  
戦略策定にあたっては、最上位計画である「川西町第3次総合計画」との整合を図るものとします。  
また、本町の分野別計画である「川西町まち・ひと・しごと総合戦略（H28.3）」「川西町地域公共交通計画（H26.3）」「川西町立地適正化計画（H29.3）」等と整合を図りつつ連携して施策を推進するものとします。



## 序-4 戦略の検討対象区域

町域が比較的コンパクトであり、住宅地が広く全域に分布していることから、町全域を検討対象区域とします。

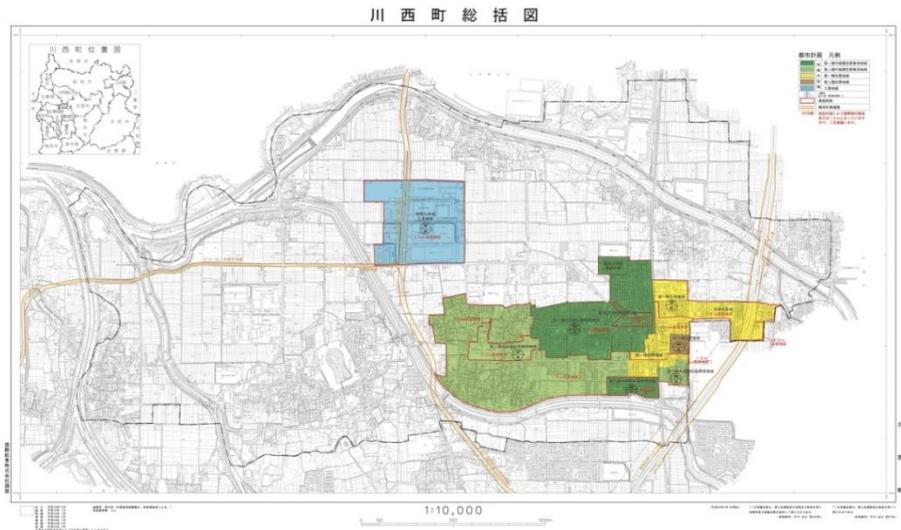


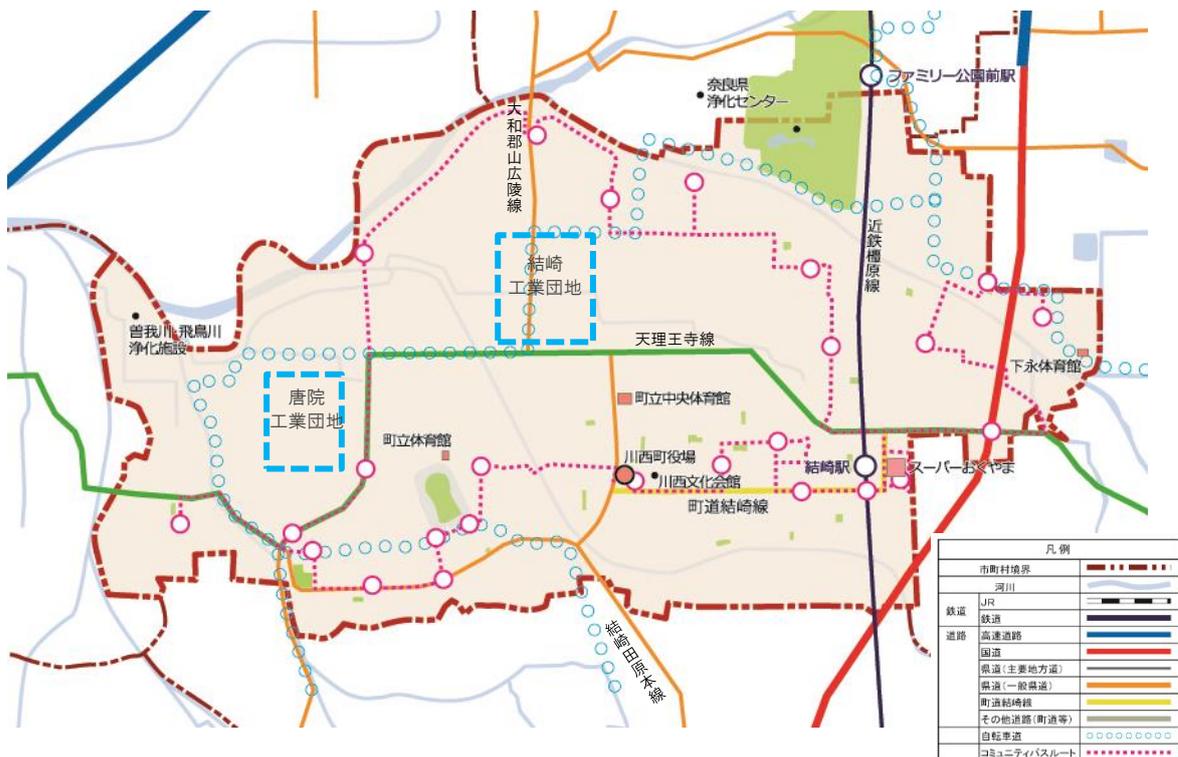
図 川西町都市計画総括図

## 序-5 本町の交通網

本町の公共交通網は、まず町の玄関口である「近鉄橿原線 結崎駅」があり、駅及び公共施設、集落等、広く町域を連絡する「コミュニティバス」が運行しています。

道路網は県道と町道等によりネットワークが形成されています。また「自転車道※」が町域を通過、連絡しています。

※「自転車道」:「奈良県自転車利用促進計画」により指定されている「奈良まほろばサイクリング」ルートの一部。  
 ※コミュニティバスルートは平成 28 年 12 月時点のルート。



川西町の交通網

## 序-6 戦略の計画期間

後述の「実施プログラム」を踏まえ、平成 29 年度～平成 38 年度の 10 年間で計画期間とします。

## 序-7 戦略の構成

項目	内容
序 章 川西町地域総合交通戦略について	○「総合交通戦略」の「趣旨」、「位置づけ」、「区域」「計画期間」等、基本事項を記載。
第 1 章 本町の現状と課題	○本町の現状、交通に関するデータを整理。 ○「交通施策面での課題（ポイント）」を抽出。
第 2 章 本町が目指す将来像	○「総合計画」及び本町の長期的な土地利用、都市構造を設定する「川西町立地適正化計画」から本町が目指すべき「将来像」を提示。
第 3 章 総合交通戦略の目標	○「課題（ポイント）」、「将来像」から導き出される「総合交通戦略」の「目標」「基本方針」を提示。
第 4 章 施策・事業	○「目標」「基本方針」に対応した「施策・事業」を提示。 ○「施策・事業」の具体的内容等を記載。
第 5 章 実施プログラム	○「施策・事業」について「いつ、誰が、なにをやるか（責務と役割分担）」を明確化し、下記項目を記載。 ・事業実施主体、事業期間、事業内容。
第 6 章 推進体制と進捗管理	○戦略の推進体制、進捗管理方法を記載。 ○進捗管理のための「評価指標」、「数値目標」を設定。